

高砂市教育大綱

令和7年2月



高砂市教育大綱について

近年、人口減少・少子高齢化、デジタル化などによる情報技術の進展、グローバル化、感染症危機などにより社会構造は急速に変化しています。また、地域コミュニティの希薄化、家庭環境の多様化・複雑化、外国人児童生徒の増加などにより、こどもたちを含めた私たちを取り巻く教育環境も大きく変化していくと思われます。



社会変化が激しく、将来の予測が困難な時代となる中で、こどもたちが、未来に向けて、夢や希望を持ち人生を切り拓いていくためには、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育てるとともに、他と関わりながら問題発見・課題解決する力、粘り強く取り組む力、自他の良さを認め合える気持ちなどを育むことが大切です。一方で、長寿社会において、誰もが文化・芸術・スポーツ活動などに親しむことで自分の持っている可能性を発揮させることができ、学び続ける喜びを感じられる生涯学習の機会の充実も求められています。

私は、「第5次高砂市総合計画」において、高砂市民の皆様の暮らしがイキイキと輝き、高砂市の未来にワクワクし、笑顔が増え、誰一人取り残さない思いやりの心と行動が育まれていくまちを目指すとしております。総合教育会議の場で協議を重ね、この想いを高砂の教育においても市民の皆さまにお示しするため、本市の教育理念を示すとともに、教育施策の根本的な方針について定める、新たな「高砂市教育大綱」を策定いたしました。

高砂市には地域のために行動する人がいます。高砂市にしかない地域の魅力があります。市民と行政がそれぞれ努力し、お互いの立場を理解し合い、対話し、助け合い、支え合い、工夫し、共に新しい価値を創ることができるよう、これまで以上に教育委員会とも連携し、こどもから大人まで、市民一人ひとりがイキイキと学び、高砂市の未来にワクワクできるよう高砂の教育を充実してまいります。

令和7年2月 高砂市長 都倉達殊

1 高砂市教育大綱の考え方

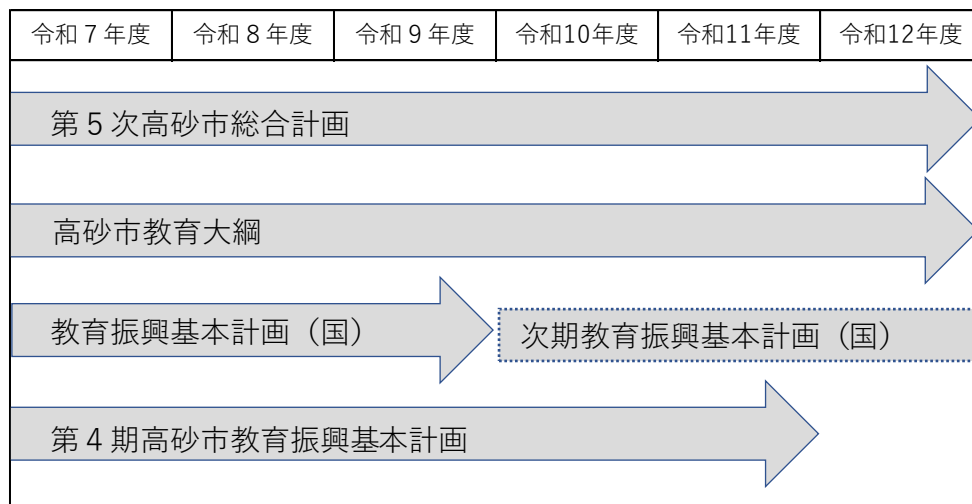
(1) 教育大綱の位置づけ

2015年(平成27年)4月1日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されたことを受けて、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとなりました。

高砂市においては、従前より「高砂市教育振興基本計画」をもって当該大綱としておりましたが、「高砂市総合教育会議」において協議・調整した上で、本市の教育の基本目標や方針などを定めた「高砂市教育大綱」を策定しました。

(2) 教育大綱の期間

今回策定する高砂市教育大綱の期間は、「第5次高砂市総合計画」の期間にあわせ、令和7年度から令和12年度までの6年間とし、国の「教育振興基本計画」、「第5次高砂市総合計画」の見直し、教育を取り巻く環境や社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて見直しを行います。



2 基本理念

ともに育み、ともに認め合い、

未来へつながる『教育のまち高砂』

3 基本方針

(1) こどもが主役の学びの中で質の高い教育を行う

- ① こどもたちの好奇心やアイデアから問いを立て、他者と協働して課題を解決する探究的な学びを取り入れ、基礎的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力を育むとともに、地域の未来を考える力を育みます。
- ② 主体的に学ぶ力、やり抜く力、自己肯定感、自分と他者を大切にできる力などの非認知能力の育成を図ります。
- ③ 教職員一人ひとりがICTの活用、生活や文化の体験など、様々な手法を通じて、こどもの学びの機会を確保し、自主性を尊重した魅力ある質の高い教育を行います。
- ④ 幼児教育・小学校・中学校で、こどもの発達段階や特性を踏まえた連続性のある教育を推進します。

(2) ニーズに合った教育環境を創る

- ① こどもたちの個性を認め、互いの多様性を尊重し、こども一人ひとりが安心して学べる居場所の充実を図ります。
- ② 複雑・多様化する人権課題に対し、すべてのこどもたちがともに学び、ともに育つ、共生社会の実現を目指します。
- ③ 地域の実情に応じた新しい時代の学びを支え、安全安心で快適に学ぶことができるように、教育施設・学習環境の充実に努めます。

(3) 生涯にわたって学ぶ機会を創る

- ① 長寿社会を見据え、生涯にわたって学ぶ機会を提供し、主体的に学ぶ意思をもち、学んだことを活かせるよう社会教育の振興を図ります。
- ② すべてのこどもが、地域での温かい交流・見守りを通じて、安心して学び、成長していけるよう、地域・家庭・学校・行政が互いに連携・協力してこどもを育てるとともに、すべての教育の出発点である家庭教育の充実を図ります。
- ③ 学校・地域が連携協力し、知恵を出し合い、こどもも大人もスポーツや文化を楽しむ機会の充実を図ります。